

山口大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

当院では、以下の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、以下の問合せ先までお申出ください。

その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

① 研究課題名	代謝異常関連性脂肪肝（MASLD）と慢性腎臓病（CKD）との関連性：3D volumetric CTによる検討			
② 実施予定期間	実施許可日から 2029 年 3 月 31 日			
③ 対象患者	以下の対象期間中に当院で 4 年以上の間をあけて腹部 CT を 2 回以上受けられた患者さん			
④ 対象期間	2015 年 1 月 1 日から 2025 年 7 月 31 日			
⑤ 研究機関の名称	山口大学医学部附属病院			
⑥ 対象診療科	全診療科（救命救急センターを除く）			
⑦ 研究責任者	氏名	伊東 克能	所属	放射線科
⑧ 使用する情報等	① 日常診療の記録から収集する項目：識別コード、年齢、性別、身長、体重、現病歴、既往歴、血液検査（クレアチニン、eGFR）、CT 画像 ② 本研究で検討する項目：CT のパラメータ、肝臓・脾臓・腎臓・大腰筋の体積および CT 値、臍レベルの体周囲長、皮下・内臓脂肪量			
⑨ 研究の概要	心疾患、腎疾患、代謝性疾患は互いに強い関連があり、それぞれの病態や予後に影響を与えるため、これらの相互関係を心腎代謝連関とする概念が提唱されており、包括的に診療する必要があります。近年、代謝異常を合併する脂肪肝を代謝異常関連性脂肪肝（Metabolic dysfunction Associated Steatotic Liver Disease：MASLD）とすることが提唱されています。MASLDでは慢性腎臓病（chronic kidney disease: CKD）の合併率が高いことが知られていますが、その詳細は十分に検討されておらず、MASLD関連CKDとして心腎代謝連関の観点からも早期診断が重要です。CTはミリ単位の厚さで撮像されており、以前から臓器や病変の体積を測定すること（3D volumetric CT）は可能でしたが、近年、ソフトウェア技術の進歩によりCT画像から腹部臓器の体積を自動計測できるようになり、長期経過観察における各臓器の体積変化が評価可能になりました。CKDでは病期の進行とともに腎体積が低下することが知られていますが、MASLD関連CKDにおける経時的な腎体積変化についてCT画像を用いて検討した報告はありません。			

	本研究の目的は、初回CTにおけるMASLDの有無や程度とCT画像から自動計測された腎体積や腎機能との関連性を検討すること、およびMASLD患者において、経過観察CTにおける腎体積変化や腎機能障害の増悪との関連性を検討することです。さらにMASLDとの関連が推定される膵臓、大腰筋の脂肪沈着や体積および内臓脂肪、皮下脂肪、腹囲についても検討します。初回CTでのMASLDの有無や程度が、CKDの出現または増悪の予測因子となれば、MASLD関連CKDの早期の治療介入に貢献でき、腎障害の進展予防や生活の質（quality of life: QOL）の改善に役立つ可能性があります。			
⑩ 実施許可	研究実施許可日	2025 年 9 月 9 日		
⑪ 研究計画書等の 閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては以下の問い合わせ先にご連絡ください。			
⑫ 結果の公表	学会や論文等で公表します。			
⑬ 個人情報の保護	結果を公表する場合、個人が特定されることはありません。			
⑭ 知的財産権	山口大学に帰属します。			
⑮ 研究の資金源	放射線医学講座の奨学寄付金にて行います。			
⑯ 利益相反	ありません。			
⑰ 問い合わせ先・ 相談窓口	山口大学医学部附属病院 放射線科 担当者：竹村 悠人			
	電話	0836-22-2285	FAX	0836-22-2285